

「外国語学部・国際学部における eラーニングを活用した実践
～コロナ禍での授業実践と入学前課題の取り組み事例の紹介～」

2022年10月28日に開催いたしました「大学のグローバル化 情報交換セミナーVol.50」にて、北海道文教大学 国際学部 国際教養学科 准教授 沢谷佑輔先生にご講演いただいた際のレポートとなります。

大学のグローバル化 情報交換セミナーVol.50
2022年10月28日(金)

外国語学部・国際学部における
eラーニングを活用した実践

～コロナ禍での授業実践と入学前課題の取り組み事例の紹介～

沢谷 佑輔

北海道文教大学

国際学部 国際教養学科

沢谷先生は公立の特別支援学校、高等専門学校勤務を経て現職に就かれました。ご専門は英語教育で、現在の研究テーマは、アカデミックリスニングを中心とする学術目的の英語と英語授業における教師のICT活用でございます。北海道文教大学では英語の専門科目や教職課程の英語の教科教育法（小・中・高）の講義をご担当されています。

その沢谷先生のバックグラウンドを伺い、なぜ沢谷先生のご講演がどんどんと耳に入ってくるような印象を持つのが判った気がしました。おそらく、常に聞き手を意識したスタンスでいらっしゃるからだと推察しております。

■ コロナ禍におけるスピーキングクラス

2020年度、改組が続く大学改革の最中に新型コロナに見舞われました。それまで学生へ学内用のメールアドレスも配布していなかった同大学では、リモート講義用設備の業者選定から始めなければならなかったとのことでした。その状況からリモート講義を可能にするまでを、短期間で行わなければならなかったその労力は相当のものであったかと存じます。

更に、学生の自宅における私用PCの所有率がかなり低いことが、講義リモート化の選択肢を狭めることとなり、最終的にオンデマンド式を選択せざるを得なかったとのことでした。

本講演では、そのオンデマンド方式で実施したスピーキングクラスの概要をご紹介します。どのように実施されたのか、また、その講義内容や目的に合わせてどのようなテキストやアプリ、eラーニング教材を選定されたのか具体的にご紹介いただき、一定以上の成果を出されたことまでを、数字を交えてご披露いただいております。

個人的には、初学者の苦手なスピーキングに関して、大学側が学生へ推奨したトレーニング方法が、スピーキング学習へのマインドブロックのハードルを下げる内容であったことがとても印象的でした。

■ eラーニング教材を使用した入学前教育



スピーキングクラスに関する内容のほか、同大学で実施されている入学前教育に関するご紹介もご紹介いただいております。

大学入試制度の多様化により入学者間の学力レベルにギャップが生じる中、同大学では推薦入試など早期入学者向けの英語課題用教材として、英文法を学ぶためのeラーニング教材を導入されました。

この英文法コースの「中学校レベルの英文法を学び直す」というコンセプトに対して、簡単すぎるのでは？という懸念を残しながらも導入された教材への学生からの評価や、入学した後に見えてきた課題は、各大学が抱える共通の悩み事であるように感じました。いかにしてこの課題を克服していくのか、今後我々も出来得る限りの助力させていただき、北海道文教大学様のご活動を注視して参りたいと存じます。

ご講演に関するレポートは以上となります。

ご講演の詳細はもちろん、沢谷先生のご講演での話し方や仕草なども動画でご視聴いただくことが可能です。ご希望の方は、ご所属名とお名前をメール本文にご記載の上、academy@alc.co.jpまでご連絡ください。

最後に弊社からの告知です。

本講演にてご紹介いただいた弊社eラーニング教材：ALC NetAcademy NEXTは新規および既存導入校様向けに、2022年12月から2023年3月まで期間限定キャンペーンを実施しております。

キャンペーン適用には、一定の条件がございますので、ご興味ございましたら、academy@alc.co.jpまたは営業担当まで、お気軽にお問い合わせをお願いいたします。

(文・構成：文教営業部 虎澤将人)